



ミュージアムの コレマデとコレカラ

ミュージアムの歴史



能代バスケットミュージアムは、現在能代ふるさと観光大使を担っている、月刊バスケットボール初代編集長の島本和彦さんが平成23年に寄付してくれた本や絵画などの資料を島町新拠点に展示したことからスタートしました。

はじめは規模も小さかったけれど、初代市民栄誉章受章者である加藤廣志先生のご遺族からいただいた品や、全国の皆さんがバスケットに関する貴重な資料をたくさん贈ってくれました。

そこで、多くの方の応援

や協力のおかげで増えたこれら資料を使ってバスケット街づくりの拠点を整備し、能代を盛り上げようという話が出てきました。

平成24年5月、島町の空き店舗を活用してバスケット特化した施設として能代バスケットミュージアムがオープン。これまでバスケットに関する情報発信や館内での企画展示、秋田ノーザンハピネッツの選手とのコラボイベントなど、さまざまな企画で「バスケットの街のしろ」を発信してきました。

ただ、ここでも約1万点

たくさんの人の応援や協力があったからこそ施設なんだね！



にもなる数多くの資料はみんなにほとんど見せることができていませんでした。そんなときに、去年、能代市柳町商店街振興組合の皆さんから、柳町の空き店舗へバスケットミュージアムを移転させることについて相談があり、今回のリニューアルオープンにつながりました。

これからもバスケットミュージアムではバスケットの楽しさや歴史、文化を伝えるため、皆さんに色々な情報を届けたり、イベントを行ったりしていきます。

次ページからはいよいよ館内紹介をしていくよ！

